

SIMPLY MADE GLOVES

Publication number: JP10273804 (A)

Publication date: 1998-10-13

Inventor(s): MATSUDA KAZUTO +

Applicant(s): SUZU PACK KK +

Classification:

- **international:** **A41D19/00; A41D19/00;** (IPC1-7): A41D19/00

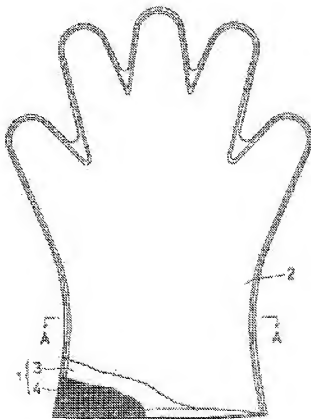
- **European:**

Application number: JP19970077165 19970328

Priority number(s): JP19970077165 19970328

Abstract of JP 10273804 (A)

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain the subject glove that is made of flexible plastic film and has an antimicrobially treated nonwoven fabric piece fixed to its palm surface and is easy to use (put on) and causes no contamination of other things due to sterilization. **SOLUTION:** This glove is made of two sheets of flexible plastic film 2, 3 (as polypropylene, polyethylene, vinyl chloride resins, nylon or the like) and an antimicrobially treated nonwoven fabric cloth 4 is fixed to the palm face of the glove. The contours of the left and right gloves may be made symmetrical. In addition, the film 2 on the back side of the hand is made preferably air permeable but moist-impermeable, in addition, the plastic films 2, 3 are preferably embossed. The nonwoven fabric 4 is prepared by treating nonwoven fabric made of plastic fibers with an antimicrobial agent. The antimicrobial agent may be a zeolite supporting an antimicrobial metal as silver or mad be a chemical as hinokitiol.



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-273804

(43)公開日 平成10年(1998)10月13日

(51)Int.Cl.⁶

A 4 1 D 19/00

識別記号

F I

A 4 1 D 19/00

Q

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平9-77165

(22)出願日 平成9年(1997)3月28日

(71)出願人 591016080

株式会社スズバック

大阪府大阪市西区西本町1丁目5番3号

扶桑ビル

(72)発明者 松田 和人

大阪府大阪市西区西本町1丁目5番3号

株式会社スズバック内

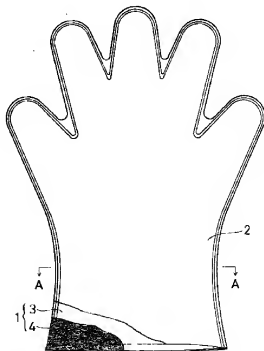
(74)代理人 弁理士 辻本 一義

(54)【発明の名称】 簡易手袋

(57)【要約】

【課題】 医療機関や調理食品工場等の厳格な衛生管理が要求される作業現場で使用される作業用手袋であって、使いやすく、しかも他のものを細菌で汚染することのないものを提供することを課題とする。

【解決手段】 軟質のプラスチックフィルム2、3からなる手袋の手の平側の面に抗菌処理された不織布4を取り付けた作業用手袋とした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 軟質のプラスチックフィルム(2, 3)からなる手袋の手の平側の面に抗菌処理された不織布(4)を取り付けたことを特徴とする簡易手袋。

【請求項2】 手袋の輪郭形状が、左右対象であることを特徴とする請求項1記載の簡易手袋。

【請求項3】 手の甲側のプラスチックフィルム(2)が、空気は通すが水は通さない防水性を有するものであることを特徴とする請求項1又は2記載の簡易手袋。

【請求項4】 プラスチックフィルム(2, 3)が、エンボス加工をしたものであることを特徴とする請求項1, 2又は3記載の簡易手袋。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、医療機関や調理食品工場等の厳格な衛生管理が要求される作業現場で使用される、所謂使い捨ての簡易手袋に関するものである。

【0002】

【従来の技術】病院等の医療機関では、MRSA等の細菌による院内感染が問題になってきている。また、調理食品工場では、大腸菌やサルモネラ菌等による食中毒が問題になってきている。

【0003】そのため、使い捨てのプラスチックフィルムからなる手袋をして作業し、手に付着した細菌が患者や調理する食品に移らないようにしてきた。

【0004】しかし、従来のプラスチックフィルムからなる使い捨ての手袋は、手袋が破れやすいという問題や、手が滑りやすいという問題があった。

【0005】そこで、手袋の手の平側の面に不織布を取り付けることが考えられたが、不織布に細菌が付着すると、かえって汚染を拡大してしまうことがあるという問題があった。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】そこでこの発明では、上記の問題点を解決し、使いやすく、しかも他のものを細菌で汚染することのない簡易手袋を提供することを課題とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】そのため、この発明では、軟質のプラスチックフィルム2, 3からなる手袋の手の平側の面に抗菌処理された不織布4を取り付けた簡易手袋とした。

【0008】上記構成とすれば、手袋の手の平側の面に不織布4を取り付けているので、破れにくく、しかも手がすべりにくい。さらに、不織布4には抗菌加工がしてあるので、不織布4に細菌が付着しても他のものまで汚染することがない。

【0009】請求項2記載の発明のように、請求項1記載の発明の構成に加え、手袋を左右対象のものとする

ば、右手用と左手用の二種類作の必要がなくなる。

【0010】さらに、請求項3記載の発明のように、請求項1又は2記載の発明の構成に加え、手の甲側のプラスチックフィルム2を、空気は通すが水は通さない防水性を有するものとすれば、長時間使用していても手が蒸れなくなる。

【0011】またさらに、請求項4記載の発明のように、請求項1, 2又は3記載の発明の構成に加え、プラスチックフィルム2, 3を、エンボス加工をしたものとすれば、プラスチックフィルム2, 3が手に貼りつかなくなる。

【0012】

【発明の実施の形態】図1は、この発明の簡易手袋の実施例を示す一部切欠正面図であり、図2は、図1のA-A線断面図である。以下、これらの図に基づき説明する。

【0013】この発明の簡易手袋は、二枚のシート1, 2を重ね合わせ、超音波又は加熱により手の平の形状に沿って溶着し、その後溶着部に沿って切り抜いて形成したものである。

【0014】手の平側のシート1は、軟質のプラスチックフィルム3に不織布4を貼り付けたものであり、貼り付けの手段は熱溶着が好ましいが、接着剤によるものでも良い。

【0015】手の甲側のシート2は、前記手の平側のシート1と同質のプラスチックフィルムからなるものである。

【0016】前記プラスチックフィルム2, 3の材質としては、ポリプロピレン、ポリエチレン、塩化ビニル、ナイロン等より選択できる。

【0017】また、手の甲側のシート2は、空気は通すが水は通さない防水性を有するものとするのが好ましく、そのために微細な穴を開けたシートを選択することもできる。

【0018】またさらに、前記プラスチックフィルム2, 3には、汗等により手に貼りつかないようにするために、エンボス加工をしたものを選択することが好ましい。

【0019】不織布4は、プラスチック繊維からなる不織布に抗菌処理したものである。不織布4に付着させる抗菌剤としては、ゼオライトに銀、銅、亜鉛等の抗菌性金属を担持させたものでもよいし、ヒノキチオール、生姜エキス、山葵エキス、キトサン、オルガノシリコーン第4級アンモニウム塩等の薬剤でもよい。

【0020】また、不織布4には、抗菌剤だけでなく消毒剤等の他の薬剤を付着させることもできる。

【0021】手袋の輪郭形状は、図1に示すように、左右対象の形状とすることが好ましい。

【0022】このように、左右対象の形状とすれば、右手用と左手用の二種類作の必要がないため、金型が一種

類だけでなく、製造コストが安くなる。

【0023】

【発明の効果】この発明の簡易手袋では、手の平側の面に不織布4を取り付けているので、破れにくい丈夫なものになるだけでなく、落りにくいので使いやすいものになる。さらに、前記不織布4には抗菌加工がしてあるので、不織布4に細菌が付着しても他のものまで汚染することがない。

【0024】請求項2記載の発明のように、請求項1記載の発明の構成に加え、手袋を左右対象のものとするれば、右手用と左手用の二種類作らなくなるので、製造コストが安価になる。

【0025】さらに、請求項3記載の発明のように、請求項1又は2記載の発明の構成に加え、手の甲側のプラスチックフィルム2を、空気は通すが水は通さない防水性を有するものとするれば、長時間使用していても手が蒸

れることがなく、不快感のない使いこごちのよいものとなる。

【0026】さらに、請求項4記載の発明のように、請求項1、2又は3記載の発明の構成に加え、プラスチックフィルム2、3を、エンボス加工したものとすれば、プラスチックフィルム2、3が手に貼りつかなくなるので不快感がせず、さらに使いこごちのよいものとなる。

【図面の簡単な説明】

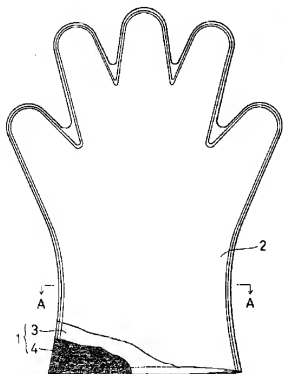
【図1】この発明の簡易手袋の一部切欠正面図である。

【図2】図1のA-A線断面図である。

【符号の説明】

- 1 手の平側のシート
- 2 プラスチックフィルム
- 3 プラスチックフィルム
- 4 不織布

【図1】



【図2】

